

取り付ける前に

取り付けのとき

- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風が直接当たる場所など、温度が極端に高くなる場所へ本体ユニットを取り付けしないでください。
- 本体ユニット、アンテナユニットは必ず車室内に取り付けてください。
- アンテナユニットを取り付ける場所は、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所は避けてください。
- 部品を両面テープで貼り付けるときは、貼付面の汚れ、油脂分、ワックス、湿気はきれいにふき取ってから貼り付けてください。
- 車体に穴をあけるときは、下にあるパイプ類や配線などに穴をあけないように、よく確認してから穴をあけてください。
- 車体のボルトやナットを使用して取付用部品と共締めするときは、ハンドル、ブレーキ系統およびエアバッグ系統のものは絶対に使用しないでください。
- 本器の取り付け場所は運転上必要な視野を確保できる（支障のない）場所に取り付けてください。（ハンドルの中心から左右 200 mm以内には取り付けしないでください。）

配線のとき

- 本器はDC12/24 V車ともに使用でき、マイナスアース専用です。
- 配線作業中はショート、事故防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 車体や、ねじ部分に配線をはさみ込まないように注意してください。
- 車体のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ハンドル、ブレーキ系統およびエアバッグ系統のものは絶対に使用しないでください。
- アンテナコードや各リード線は、かみ込みがないように確認してください。
- リード線が余ってぶらついたり、また、張りすぎたりしないように、車両のリード線とまとめて線材固定テープで固定してください。（振動などにより、鉄板のエッジ部や溶接のバリなどの干渉によるリード線の損傷を防ぐため）
- リード線が余ってぶら下がってしまう場合は、束線バンド等で結束し、絶対にぶら下がらないようにしてください。（足などに引っ掛けてコネクタのはずれ、内部断線などのリード線の損傷が起こったり、正しい運転操作ができなくなり、事故に発展する恐れがあるため）
- 鉄板のエッジ部、バリやタッピングネジのエッジ、ボルトの頭部などの近くに配線しないでください。（振動などにより、リード線が損傷する恐れがあります。）
- リード線は、強く引っ張らないでください。（連結部のはずれや損傷、内部断線などリード線の損傷の原因となります。）